

国総研の緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の活動

1. 国総研の技術支援について

国総研では、災害時において、被災地の地方整備局や地方自治体からの要請等に基づき、下水道、河川、砂防、道路、建築等、各分野の高度な技術的知見を有する専門家を現地へ派遣している。派遣された専門家は、災害の発生状況に応じた現地調査を実施するとともに、緊急的・恒久的な復旧に向けて、現場や国土交通本省等に対して必要な技術支援等を実施している。

東日本大震災の際には、発災直後から平成24年3月31日までにのべ262名(592人日)が被災地に赴き、人命救助・復旧活動等に不可欠な社会資本施設の供用性評価や応急復旧の技術指導等の活動を行った。

平成24年度は、5月の茨城県の竜巻災害、10月の台風17号による東北地方・近畿地方の土砂災害等、のべ19回、27名(平成25年1月25日時点、以下同じ。)の派遣を行った。

2. 国総研TEC-FORCEについて

国土交通省では、特に大規模な災害に際して、緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)として、専門家を現地へ派遣している。国総研においては、TEC-FORCEの中心となる専門家として、部付官、研究室長を中心に、31人の隊員が任命されている他、その都度

必要な技術力を持つ研究者が臨時隊員として指名されている。

平成24年度は、TEC-FORCEの高度技術指導班の一員として、九州を中心とした梅雨前線豪雨や近畿地方における豪雨に対して、のべ8名(11人日)(表)を派遣した。

3. 今後の災害支援体制の充実に向けて

今後は、技術支援活動を通じた被災情報や支援内容の情報をデータベースとして蓄積・ナレッジ化していくことにより、今後の技術基準の策定等に活かしていくとともに、高度な災害対応技術・知見の継承に活用していく。また、TEC-FORCE隊員の拡充、講習の実施等により、より充実した対応を目指す。



図 花月川における活動状況

表 平成24年度 TEC-FORCEの派遣実績(平成25年1月25日時点)

	日時	場所	目的	派遣者
7月3日からの梅雨前線豪雨への対応	7月4日	筑後川水系花月川 (大分県日田市)	被災状況調査、復旧方針等の技術的な支援・助言	河川研究部 河川研究室長 服部敦 河川研究室主任研究官 福島雅紀
	7月12日 ~13日	白川水系白川・黒川 菊池川水系合志川 (熊本県熊本市)	被災状況調査、復旧方針等の技術的な支援・助言	河川研究部 水防災システム研究官 鳥居謙一 河川研究室研究官 福原直樹 危機管理技術研究センター 水害研究室長 伊藤弘之
	7月15日	矢部川水系矢部川・沖端川 (福岡県柳川市)	復旧方針等の技術的助言	河川研究部 河川研究室長 服部敦 危機管理技術研究センター 水害研究室主任研究官 久保田啓二郎
8月13日からの大雨への対応	8月20日	宇治川水系弥陀次郎川 (京都府宇治市)	破堤メカニズム確認及び今後の対応に関する技術指導	河川研究部 河川研究室長 服部敦